

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	疾病死因分類適正化等調査費			担当部局庁	大臣官房統計情報部			作成責任者	
事業開始年度	昭和31年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	企画課国際分類情報管理室			渡 三佳	
会計区分	一般会計			政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	統計調査に用いる産業分類並びに疾病、傷害及び死因 分類を定める政令第3条			関係する計画、 通知等	-				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	1. WHOが勧告したICD(疾病及び関連保健問題の国際統計分類)の改訂・改正に関するWHO国際統計分類(WHO-FIC)ネットワークによる国際的な寄与及び日本への適用と普及。 2. WHOが勧告したICF(生活機能分類)の改訂・改正に関するWHO-FICネットワークによる国際的な寄与及び日本への適用と普及の検討。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	1. 社会保障審議会統計分科会「疾病、傷害及び死因分類部会」「疾病、傷害及び死因分類専門委員会」「生活機能分類専門委員会」の開催。 2. ICD及びICFの改訂・改正についての国際会議の開催、WHO-FICネットワークへの意見提出及び同ネットワークの国際会議(電話会議を含む)出席。 3. ICD並びにICF普及啓発本の刊行。								
実施方法	直接実施								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	37	34	33	33			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	37	34	33	33	0		
	執行額		36	28	30				
	執行率(%)		97%	82%	91%				
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度
	正確なICD及びICFに関する 分類知識についての普及 啓発	臨床研修医等への普及啓 発に必要な冊数	成果実績	部数	9,550	9,600	9,600		
			目標値	部数	9,550	9,600	9,600	9,600	
			達成度	%	100%	100%	100%		
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	「疾病、傷害及び死因分類部会」、「疾病、傷害及び死因 分類専門委員会」、「生活機能分類専門委員会」の開 催。また、ICD及びICFの改訂・改正についての国際会 議・国内会議の開催	活動実績	回数	10	6	7			
		当初見込み	回数	14	13	8	12		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	会議関係執行額 ／会議開催回数		単位当たり コスト	千円	3,260	4,667	4,149	2,764	
			計算式	千円 / 回	32,603千円/10回	28,001千円/6回	29,040千円/7回	33,167千円/12回	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	3		精査中					
	委員等旅費	1							
	印刷製本費	1							
	通信運搬費	0							
	会議費・借料及び損料	1							
	雑役務費	27							
	計	33	0						

事業所管部局による点検・改善						
項 目			評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	WHOが勧告しているICD及びICFは、国際水準での比較が可能な分類であり、その分類を用いた調査結果は国民や社会から広く利用されており、国民や社会のニーズに的確に反映している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国際機関等との調整が不可欠であり、国が実施すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	基幹統計である人口動態統計及び患者調査に使用されており、調査結果は広く国民のニーズがある他、政策立案等に利用されており、優先度の高い事業となっている。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	WHO国際分類事業の支援業務にかかる調達は、企画面での評価を行い選定する企画競争での調達を行っている。また、随意契約については、会計法令上認められている少額の随意契約である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	適正な予算執行及びコスト削減に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	ICD及びICFの改訂・改正についての国際会議等の開催及び普及・啓発に必要な最小限の費途・使途に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	印刷物の作成にあたっては、必要最小限になるよう配布先、余部数等を精査しており、コスト削減、効率化を図っている。		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	厚生労働行政の施策決定に係る基礎資料である基幹統計の人口動態統計等においても、正確な統計の集計を行うため、必要なICDの知識について普及していく必要があるため、成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	ICD及びICFに関する分類知識についての普及啓発に必要な冊子の配布を行っており、見込みに見合ったものである。		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	関係機関に配布され、十分に活用されている。		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	平成26年は例年に引き続き、WHOから発信される一部改正等に関する情報を検討するために必要な国内外の会議開催や調整等を行うと共に、普及啓発本を発行し最新の情報を伝えていく等の普及活動を行った。また、調達に当たっては、可能な部分について入札による調達を実施するなど、適正かつ効率的な執行に努めた。今後も引き続き、各業務の実施に当たっては、適正かつ効率的な執行に努める。				
	改善の方向性	とくに問題となる課題は抽出されていないが、今後も引き続き効率的な調達等を行うよう努める。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	4	平成23年度	4	平成24年度	4	
平成25年度	915	平成26年度	914			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
30. 2百万円

「疾病、傷害及び死因分類」の作成、
ICD並びにICFの普及・啓発

〔 A. 企画競争入札 〕

オスカー・ジャパン(株)
26. 5百万円

〔 国際会議の開催業務、資料
翻訳業務等 〕

〔 C. 委員等旅費 〕

委員(17名)
0. 3百万円

〔 厚生労働省本省における専門
委員会開催に係る経費 〕

〔 B. 随意契約 〕

民間会社(5社)
2. 3百万円

〔 各種統計調査結果の翻訳、
報告書の印刷、速記等 〕

〔 D. 諸謝金 〕

委員52人
0. 9百万円

〔 厚生労働省本省における専
門委員会開催に係る経費 〕

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位: 百万
円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.オスカー・ジャパン(株)			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	国際会議の開催支援、資料翻訳等	26.5			
計		26.5	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.民間事業者【企画競争入札】

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	オスカー・ジャパン(株)	国際会議の開催、資料翻訳	26.5	1	99.9%
2					

B.民間事業者【随意契約】

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	統計印刷工業(株)	ICDのABC(平成27年度版)の印刷	0.9	随意契約	-
2	メルパルク東京	WHO内科TAG国際会議 会議室代	0.7	随意契約	-
3	メルパルク東京	WHO内科TAG国際会議 会議室 キャンセル代	0	随意契約	-
4	大和綜合印刷(株)	WHO内科TAG国際会議 報告書 印刷	0.2	随意契約	-
5	大和綜合印刷(株)	ICF普及啓発書 印刷	0.1	随意契約	-
6	扶桑速記印刷(株)	ICFシンポジウム(3月) 速記代+英文テープ起こし	0.1	随意契約	-
7	扶桑速記印刷(株)	ICD専門委員会(3月) 速記代	0	随意契約	-
8	扶桑速記印刷(株)	ICD部会(5月) 速記代	0	随意契約	-
9	扶桑速記印刷(株)	ICD部会(1月) 速記代	0	随意契約	-
10	スワンベーカーリー霞ヶ関売店	ICD専門委員会(3月) お茶代	0	随意契約	-
11	スワンベーカーリー霞ヶ関売店	ICD部会(1月頃) お茶代	0	随意契約	-
12	スワンベーカーリー霞ヶ関売店	ICD部会(5月頃) お茶代	0	随意契約	-

C.委員(17名)【委員等旅費】

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	専門委員等 出席旅費	0.1	-	-
2	個人B	専門委員等 出席旅費	0.1	-	-
3	個人C	専門委員等 出席旅費	0	-	-
4	個人D	専門委員等 出席旅費	0	-	-
5	個人E	専門委員等 出席旅費	0	-	-
6	個人F	専門委員等 出席旅費	0	-	-
7	個人G	専門委員等 出席旅費	0	-	-
8	個人H	専門委員等 出席旅費	0	-	-
9	個人I	専門委員等 出席旅費	0	-	-
10	個人J	専門委員等 出席旅費	0	-	-

D.委員(52名)【諸謝金】

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	専門委員等 諸謝金	0	-	-
2	個人B	専門委員等 諸謝金	0	-	-
3	個人C	専門委員等 諸謝金	0	-	-
4	個人D	専門委員等 諸謝金	0	-	-
5	個人E	専門委員等 諸謝金	0	-	-
6	個人F	専門委員等 諸謝金	0	-	-
7	個人G	専門委員等 諸謝金	0	-	-
8	個人H	専門委員等 諸謝金	0	-	-
9	個人I	専門委員等 諸謝金	0	-	-
10	個人J	専門委員等 諸謝金	0	-	-